

会報

明石のぼうさい

編集発行/明石防火協会(明石市消防局予防課内)
 〒673-0044 明石市藤江924番地の8
 TEL(078)918-5272 FAX(078)918-5983
 ホームページアドレス : <http://www.akashi-bouka.jp/>



令和2年度 防火ポスター展



山手小学校 5年
平古場 心音



望海中学校 2年
岩見 綾真



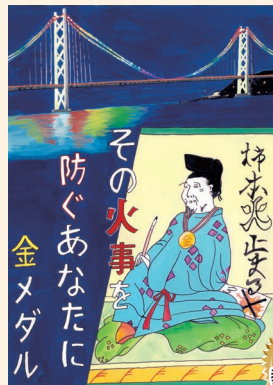
花園小学校 5年
岩見 奈月



金ヶ崎北保育園 年長
井上 誉



金ヶ崎北保育園 年長
酒井 結侑



望海中学校 3年
山崎 大樹



防火協会恒例の主催行事として火災予防運動啓発用ポスターの募集を呼び掛けたところ、市内の園児から中学生まで二百四十七名の応募がありました。
 審査は、令和二年十月一日(水)に行われ、審査員により左記の方々が明石市長賞ほか、各賞に選出されました。

火災予防条例の改正について

「急速充電設備を設置する際は届出が必要となる場合があります」



電気自動車の普及や搭載される蓄電池の大容量化などに伴い、電気自動車に充電するための急速充電設備が増えつつあります。

この急速充電設備の内部は、一般家庭で利用される電圧・電流よりも高電圧・高電流が利用されています。

このため急速充電設備は、火災の発生のおそれのある設備として各市町の火災予防条例で防火安全対策の基準が設けられています。

従来の充電性能は出力五十kWまででしたが、技術開発により、出力二百kWまでに拡大し、より充電性能の高い製品が開発されるようになりました。

この流れを受けて、火災予防条例が改正されました。

令和三年四月一日以降は新たな防火安全対策を求めるとともに、出力五十kWを超えるものについては消防機関への届出も必要となりますのでご注意ください。

設置するだけでなく、メンテナンス等の維持管理も引き続き行っていただきますようお願いいたします。

令和二年度 定例会開催

今年度の定例会におきましては、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、初めてのリモート形式による会議を開催致しました。

● 令和二年十月二十九日(木)
医療福祉防火管理研究部会

● 令和二年十一月二日(月)

工場防火管理研究部会、危険物保安管理研究部会合同

● 令和三年二月十五日(月)

特定防火対象物防火管理研究部会

● 令和三年二月十八日(木)

医療福祉防火管理研究部会

● 令和三年二月十九日(金)

工場防火管理研究部会、危険物保安管理研究部会



ブーム付消防ポンプ自動車導入

中崎分署に配置されていた梯子付消防自動車(三十m級)の更新に伴い、ブーム付消防ポンプ自動車(MVF)が令和三年四月一日から運用を開始する予定です。モリタが製造したエンジン形式:ディーゼルエンジン、排気量:五一二〇cc、駆動形式:2WD、乗車定員:六名になります。MVFとは「MORITTA VARIOUS FIGHTER」の略です。

地上高さ十三・七m、下へマイナスイオンに届くブーム、九百ℓの水槽と水を有効に利用できるCAF装置を装備しています。



支援車IV型導入

令和三年二月、支援車IV型が導入されました。トヨタ自動車が生産したエンジン形式:ディーゼルエンジン、排気量:二七五〇cc、駆動形式:4WD、乗車定員:八名になります。この車両は、火災原因調査の他、大規模災害時に不足する人員、資器材を搬送するために使用されます。

また、緊急消防援助隊の車両として登録されています。

新高規格救急自動車導入

令和二年十二月、新高規格救急自動車導入されました。トヨタ自動車が製造したエンジン形式:ガソリンエンジン、排気量:二六九〇cc、駆動形式:4WD、乗車定員:七名、安全装置:衝突回避支援装置(VSC/TRC)になります。

車体の側面には、明石市の「A」と心電図波形を模した反射シール、さらに作業灯を備えることにより、夜間出動時における視認性を向上させました。この新高規格救急自動車は、大久保分署に配置されました。



令和2年 火災・救急の統計

火災の概要

令和2年中における明石市内で発生した火災・救急の概要がまとまりました。令和2年中の火災件数は55件、死者1名、負傷者12名となりました。

●前年度の比較(件数)

区分	令和2年	令和元年
建物	26	38
林野	0	0
車両	9	7
船舶	0	0
その他	20	28
合計	55	73

●出火原因(件数)

区分	令和2年	令和元年
放火・放火の疑い	8	25
たばこ	1	7
こんろ等	6	5
たき火・焼却炉	0	0
火遊び	0	1
電気関係	5	5
マッチ・ライター	0	1
ストーブ	1	1
その他	19	26
不明	0	2
調査中	15	0
合計	55	73

救急の概要

●前年度の比較(出動件数)

区分	令和2年	令和元年
急病	9,013	10,231
一般負傷	2,360	2,631
交通事故	899	1,089
自損行為	127	124
加害	69	51
労災	85	88
火災	33	42
運動競技	50	57
水難	13	18
自然災害	0	0
転院搬送	1,320	1,530
医師搬送	34	40
その他	384	398
合計	14,387	16,299

火災件数は55件で前年の73件から18件減少しました。

過去10年間の合計は741件で、1年間の平均は約74件となり、大幅な減少となりました。

火災による死者数は、1名で前年の0名から1名増加し、負傷者は12名で前年の8名から4名増加しました。

救急出動件数は、14,387件で前年より1,912件減少しました。

事故種別で一番多いのは、急病9,013件、次に一般負傷2,360件、転院搬送1,320件となっています。

また、令和3年1月から3月7日までに、17件の火災が発生し、死傷者が10名発生しました。火気の取り扱いには十分注意をお願いします。

